

令和5年シラス曳網調査結果 (第6報)

令和5年8月2日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

7月31日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深9m)、141-05E(水深28m)

141-10E(水深38m)、141-15E(水深53m)

3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)

水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

27.1°C~28.9°C

(2)シラス採捕数(図1)

1 定点あたり 3~468 尾 (合計 483 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(7月19日、1~12尾、合計20尾)と比較し、増加しました。

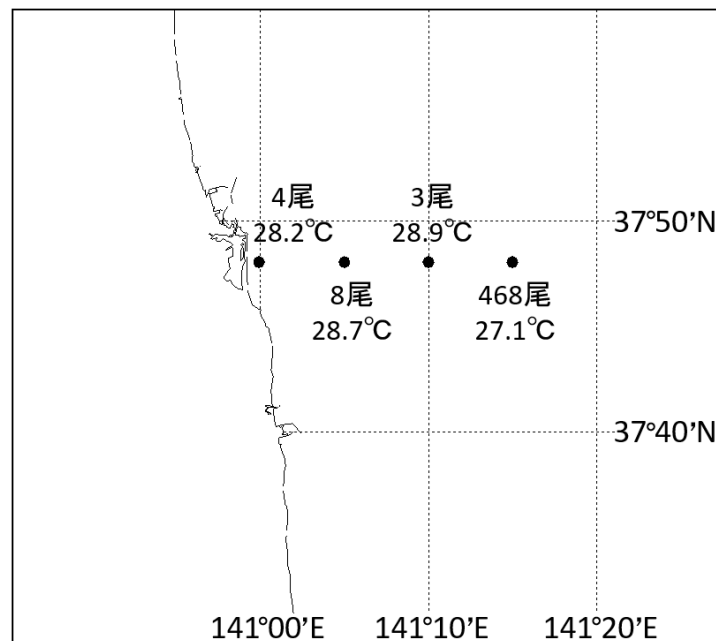


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：6.0～36.9mm(モード：14.0～16.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群、30mm 前後の群の3つの群で構成されています。

141-00E では10mm 前後、141-05E、141-10E では30mm 前後のシラスが採捕され、141-15E では10mm 前後、15mm 前後、30mm 前後の3つの群のシラスが採捕されました。

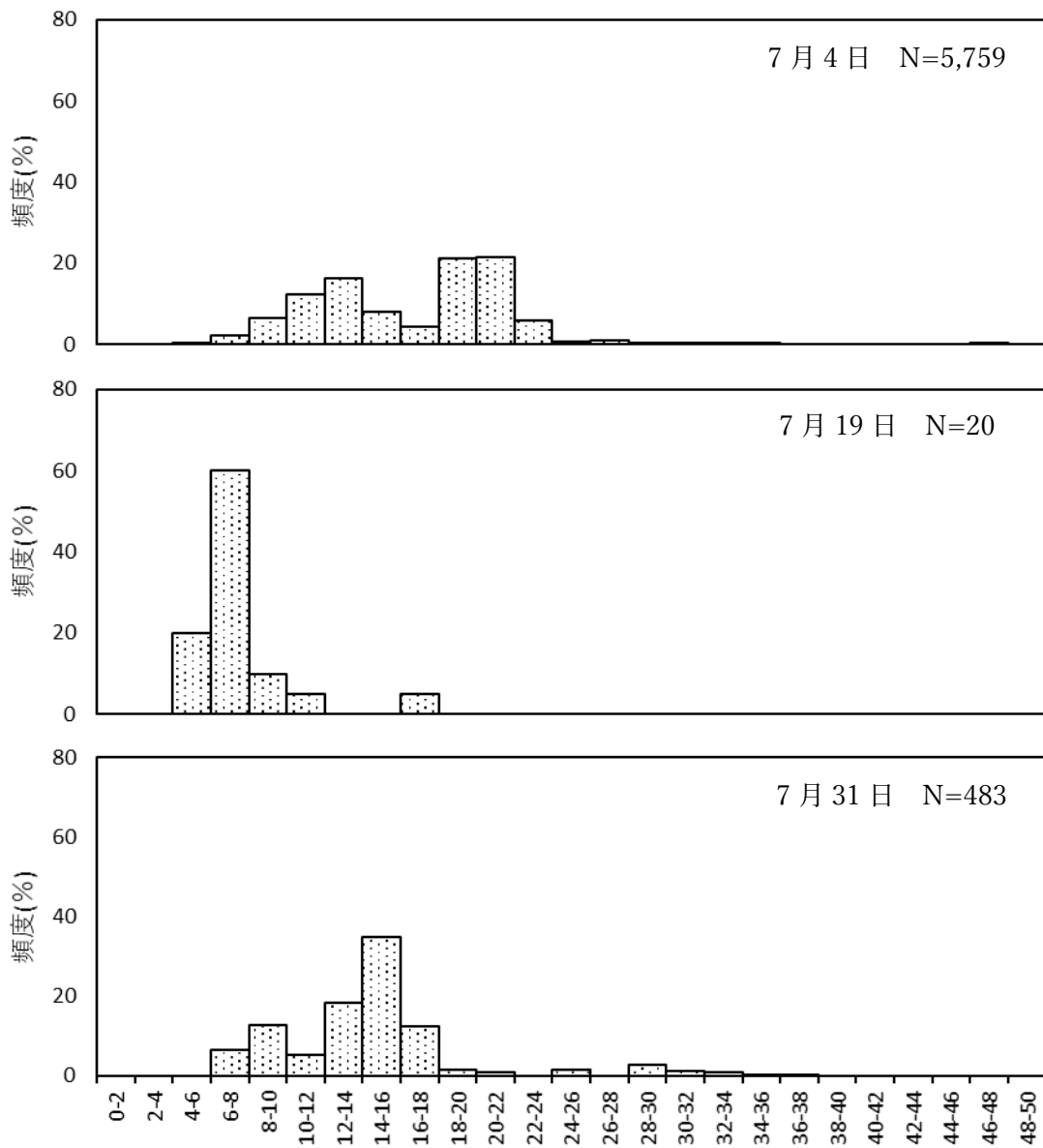


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和5年7月のシラス採捕数は平成18年以降で6番目に多い結果となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

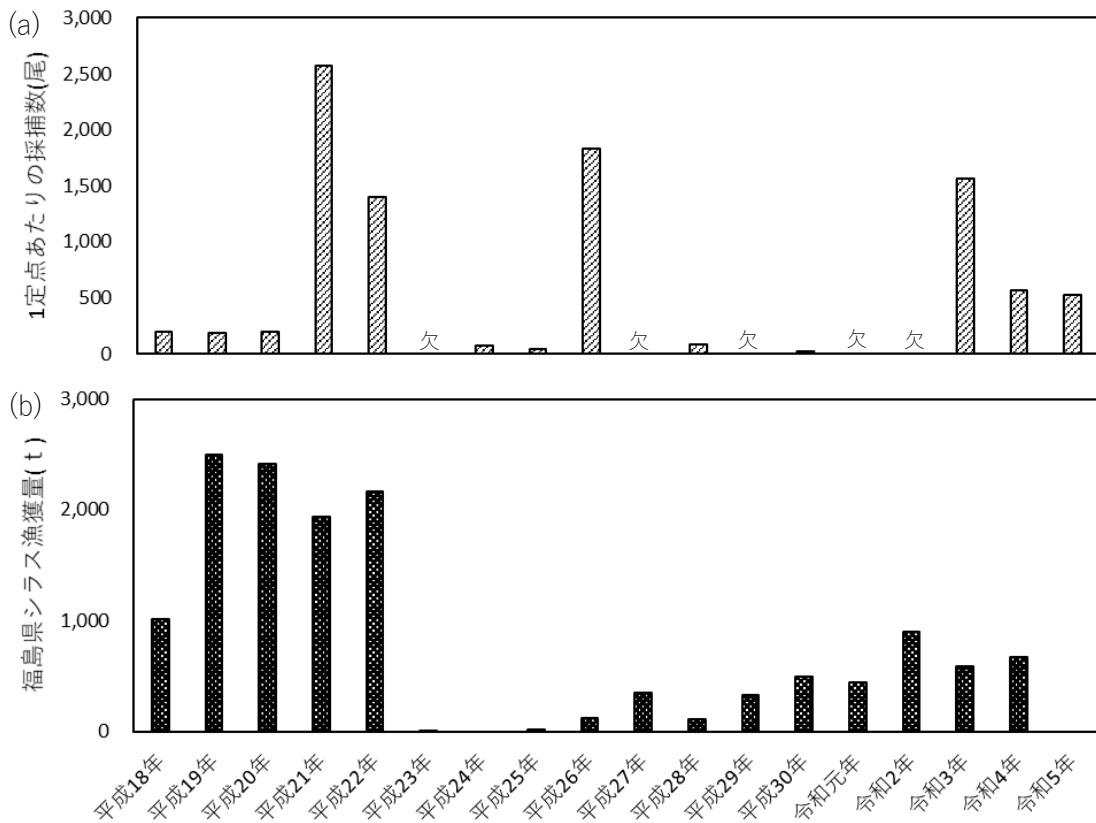


図3 (a)相馬海域における7月の1定点あたりの採捕数
(b)福島県の年別シラス漁獲量